

アイヌ・考古学について

# 調べようとした理由

調べた理由は、アイヌ文化について身近そうに感じながらもあまり詳しく知らないので調べてみました。

# 調べて分かったこと

アイヌ文化とは、旧石器時代からあり、自然界のすべてのものに魂が宿るとされている「精神文化」、祭りや家庭での行事などに踊る「古式舞踊」、独特の「文様」による刺繍、木彫りなどの工芸など様々な固有文化を広めている文化です。

アイヌ民族は、山では熊や鹿をとり、海では、アザラシやメカジキ、昆布をとりながら生活していました。

～続き～

アイヌ語は日本語とは違う言葉で、文法的に異なる点も多くありますが、「～が」や「～を」、「～する」の単語の順に並べるなどの日本語に似ている点もあります。

明治以降の近代化の過程によって失われていき、2009年、ユネスコによって消滅の危機にある言語として位置付けられました。

## 感想

調べてみた感想は、2009年に消滅の危機にある言語として位置づけられたことが分かりました。

## 当日に調べたいこと

アイヌ民族の着物や家などについて調べたいです。

## 前のページの続き

舞踊には、いろいろな由来のものがあったり、真似をしているものもあったりすることがわかりました。

ウポポイでは、計画通りに着物やその他の武器や道具なども調べられましたが、家などについては調べられませんでした。



思い出川柳

ウポポイの

展示室は、

面白い



説明：色々なものが展示されていて面白かったこと



## 感想

ウポイに行ってみると、調べただけでは分からなかったことや調べきれなかったことなどを分かりやすく体験できるので楽しかったです。

楽しい修学旅行になって嬉しかったです。



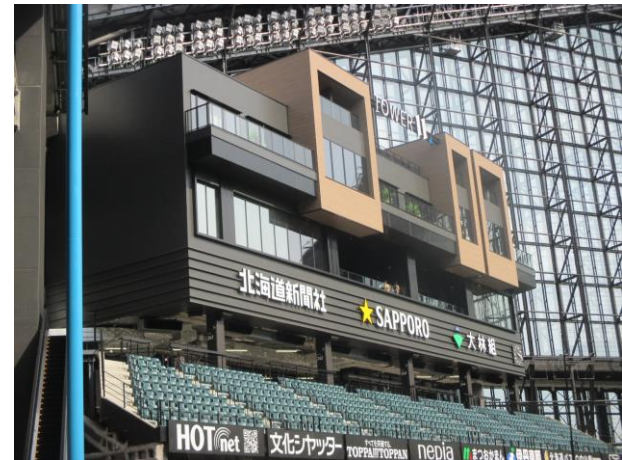


# 修学旅行の写真集





# パート 2



## 外部講師 熊谷さんからの学び

9月に縄文文化の研究をしている熊谷さんに考古学について教えていただきました。

考古学とは、遺跡を発掘して出てきた道具などから昔の人達の暮らしを研究する学問だそうです。

砂川市から縄文遺跡が発掘されたことや遺跡の発掘の様子、縄文土器の作り方などを知ることができました。

実際に空知太から出土した土器を手に取り、学びが深まりました。

